

令和元年10月31日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局 奈良国道事務所

文化財保全に向けた地下水のモニタリング方針を検討します。

～ 11月5日 第8回「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」を開催 ～

奈良県北部地域には、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとするきわめて重要な文化財が数多く存在しており、文化財保全等の観点より、地下水の状況を把握し、モニタリング方針を検討しています。

今回の検討委員会では、平城宮跡内で実施した「現地涵養試験」の効果や、工事による地下水への影響について検討を行います。

■開催日時: 令和元年11月5日(火) 10:00～11:30(予定)

■開催場所: 大阪合同庁舎第1号館 第1別館3階 304会議室

■議 事: 別紙のとおり

※報道取材について

- ・会議は非公開とします。ただし、報道機関に限り、会議冒頭の委員長挨拶までカメラ撮り可能です。希望される報道機関の方は、当日10分前までに会場にお越しください。
- ・委員会終了後、別会場(第1別館2階 203会議室)で結果の概要について報告する予定です。(12時頃)
- ・委員会資料、結果の概要は当日配布する予定です。
(後日、奈良国道事務所・大和北道路のホームページにて公開)

<取扱い>

<配布場所> 奈良県政・経済記者クラブ、奈良県文化教育記者クラブ、
奈良市政記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 奈良国道事務所

副所長 青山 淳 (あおやま じゅん)

計画課長 大嶋 悦彦 (おおしま よしひこ)

電 話: 0742-33-1391(代表)

■第8回「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」について

奈良県北部地域には、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとするきわめて重要な文化財が数多く存在しています。これまでの検討より大和北道路のトンネル建設に伴い推定される地下水変動は、季節変動に比べ小さいことが明らかになっていますが、さらに、木簡等の文化財の保全等の観点より、地下水の状況を把握し、モニタリング方針を検討するため、平成18年9月に「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」を設置し、検討を行っています。

第8回委員会では、引き続き、地下水位観測結果の報告を行うとともに、平成31年2月に平城宮跡内で実施した「現地涵養試験」の効果や、工事による地下水への影響について検討を行います。

1. 開催日時

令和元年11月5日(火) 10:00～11:30(予定)

2. 開催場所

大阪合同庁舎第1号館 第1別館3階 304会議室

住所:大阪府中央区大手前1-5-44(位置図参照)

3. 議事予定

【報告事項】

- 1)これまでの経過と今後の進め方
- 2)地下水位観測について

【議論事項】

- 1)現地涵養試験による効果検証について
- 2)南側開削工事の地下水影響について

4. 委員会メンバー(五十音順)

【委員長】 京都大学名誉教授

公益財団法人 辰馬考古資料館 館長

総合地球環境学研究所 副所長

岡山大学大学院環境生命科学研究科 特任教授

奈良文化財研究所長

三木地盤環境工学研究所長

兵庫県立考古博物館 館長

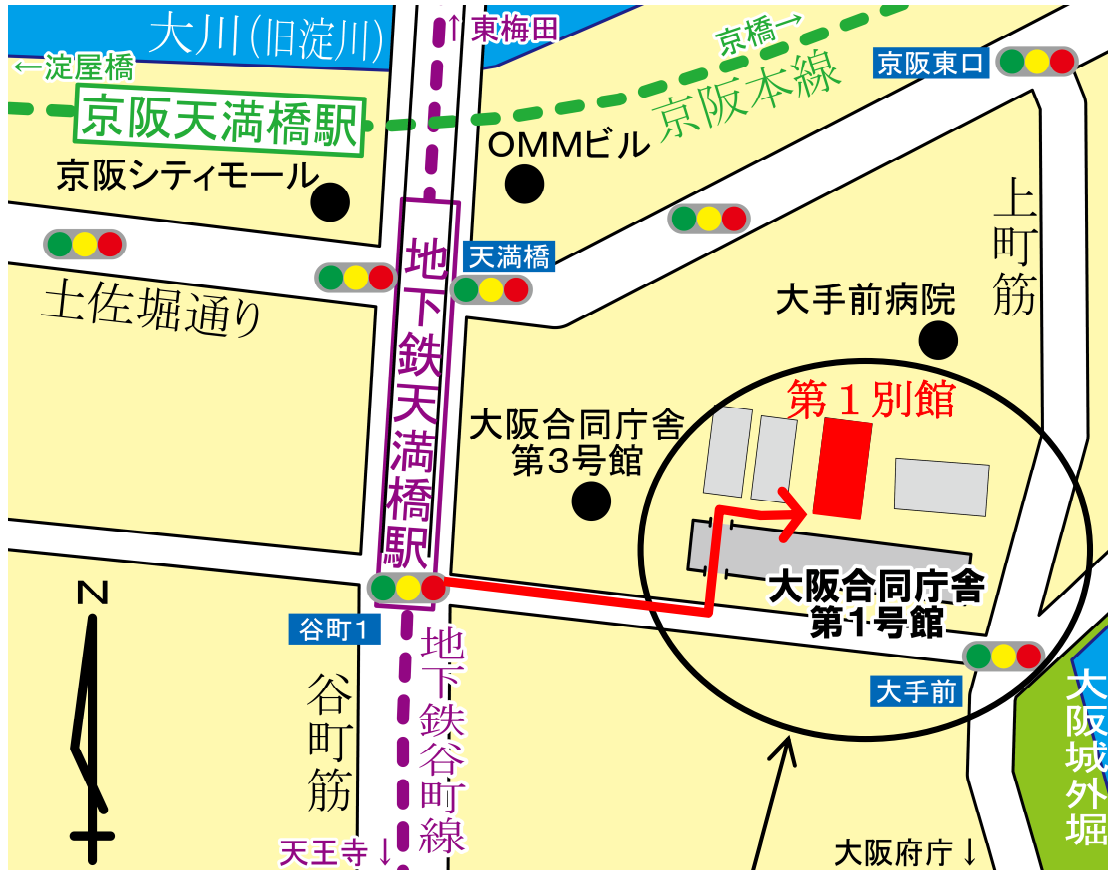
おおにし	ゆうぞう
大西	有三
うえはら	まひと
上原	真人
たにぐち	まこと
谷口	真人
にしがき	まこと
西垣	誠
まつむら	けいじ
松村	恵司
みき	ひろし
三木	博史
わだ	せいご
和田	晴吾

第8回大和北道路地下水モニタリング検討委員会
開催場所位置図

大阪合同庁舎第1号館

第1別館3階 304会議室

住所：大阪府中央区大手前1-5-44



(大阪合同庁舎第1号館拡大図)

